学校番号	3003

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	第２学年	VISTA English Communication I

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業は、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業で、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行なう。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習します。また、語彙を増やすために、基本的な単語小テストをほぼ毎回の授業で行う。
・１学期は日本人教諭が行う授業と、日本人教諭とＡＬＴが行う授業を１回ずつ、２学期以降はＡＬＴが中心で日本人教諭がサポートする授業を行なっていく。
・１学期のみ定期考査行い、２学期と３学期は授業内の各テストで成績の評価を行っていく。

2　学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくり、はっきりと話されれば、簡単な指示を理解することができる。 趣味や部活動など身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。 決まった表現でゆっくりはっきりと話された日常生活に関する指示の要点を理解することができる。	中学必修単語の意味が分かる。 短い文章を読んで、話の内容に合ったイラストを選ぶことやイラストに関わる英語を理解することができる。 日常生活のトピックに関する文の要点を理解することができる。	クラスの生徒の前で、英語で自己紹介ができる。 スポーツや食べ物の好き嫌いなど、身近な話題について基礎的な語句や表現を使ってやり取りすることができる。 日常生活の話題について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	クラスの生徒の前で、英語で自分の将来の話ができる。 前もって発話することを準備したうえで、簡単な語句や基本的な表現を使って日常生活に関する事実を描写することができる。 画像をいれたスライドを作成し、視覚的補助を用いながら、簡単な語句や文を使い、身近な話題について短く話をすることができる。	中学必須単語や動詞の変化形を書ける。 ALT の先生に授業の感想を書くことができる。 自分の経験について、クロームブックを用いて短い文章を書くことができる。 簡単な語句や基礎的な表現を用いて身近な事（好きなもの､嫌いなもの､学校生活など）について、複数の文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Lesson 10	聞くこと	a: 比較級・最上級の変化形の違いを聞き取ることができ、ＡＬＴの先生の英語を聞き、伝えたいことを理解できる。 b: 比較級・最上級の要点を理解し、を聞き取ることができる。また、ＡＬＴの先生の英語を聞き、伝えたいことを理解できる。 c: 比較級・最上級の要点を理解し、を聞き取ることができる。また、ＡＬＴの先生の英語を聞き、伝えたいことを理解しようとする。	平常授業内で リスニングテスト
		読むこと	a: 比較級・最上級の文章構造を理解し、比較の対象を見つけることができる。 b: 比較級・最上級の要点を理解し、正しく読み取ることができる。 c: 比較級・最上級の要点を理解し、正しく読み取ろうとする。	定期考査 (リーディング)
		話すこと （発表）	a: 比較級・最上級の要点を理解し、日常生活内のさまざまなことに対して、短文を作成し、スライドを作る。 b: 比較級・最上級の要点を理解し、作成したスライドを用いて、簡単なプレゼンテーションができる。 c: 比較級・最上級の要点を理解し、作成したスライドを用いて、簡単なプレゼンテーションを行なおうとする。	平常授業内で 発音テスト
		書くこと	a: 比較級・最上級の変化形を書くことができる。 b: 比較級・最上級の文章構造を理解し、短文を書くことができる。 c: 比較級・最上級の文章構造を理解し、短文を書こうとする。	定期考査 （ライティング） 平常授業内で 単語小テスト
	中間考査			
	Enjoy Reading!	聞くこと	a: 仮定法を理解し、仮定する内容を理解することができる。 b: 仮定法から現実の内容を考え、理解することができる。 c: 日常生活の話題に仮定法を用いた説明を	平常授業内で リスニングテスト
		読むこと	a: 仮定法の意味を理解し、物語の内容を理解することができる。 b: 仮定法の意味と文章構造を理解し、物語の本質を理解することができる。 c: 仮定法の意味と文章構造を理解し、物語の本質を理解しようとする。	定期考査 (リーディング)
		話すこと （発表）	a: 仮定法を用いて短文を作り、スライドを作成することができる。 b: 仮定法を用いた短文を作り、複数のスライドに短い文章を作成し、プレゼンテーションを行うことができる。 c: 仮定法を用いた短文を作り、複数のスライドを見せながら、積極的にプレゼンテーションを行おうとする。	平常授業内で 発音テスト
		書くこと	a: 仮定法の文を理解し、時制の変化を理解することができる。 b: 仮定法の文を理解し、簡単な語句や文を用いて、短い文章を書くことができる。 c: 仮定法の文を理解し、日常的な内容のことを積極的に書こうとする。	定期考査 （ライティング） 平常授業内で 単語小テスト
	期末考査			

2 学期	プリント	聞くこと	a: ALT の先生の説明を理解することができる。 b: ALT の先生が説明する指示を理解し、課題に取り組むことができる。 c: ALT の先生が説明する指示を理解し、課題に取り組もうとする。	平常授業内でリスニングテスト
		読むこと	a: ALT の先生が提示した文章を読み、その理解することができる。 b: ALT の先生が提示した文章を読み、その要点を理解できる。 c: ALT の先生が提示した文章を読み、その要点を理解しようとする。	平常授業内でリーディングの小テスト
		話すこと（発表）	a: like/like to の表現や未来形を用いて、短い文章を相手に話すことができる。 b: like/like to の表現や未来形を用いて、複数のスライドに短い文章を入力し、プレゼンテーションを行うことができる。 c: like/like to の表現や未来形を用いて、複数のスライドを見せながら、積極的にプレゼンテーションを行おうとする。	平常授業内で発音テストとプレゼンテーションテスト
		書くこと	a: like/like to の表現や未来形を用いて、自らの考えを短い文で書くことができる。 b: like/like to の表現や未来形を用いて、自らの考えを表現できる。 c: like/like to の表現や未来形を用いて、自らの考えを積極的に表現しようとする。	平常授業内でライティングテストと単語小テスト
	中間考査はおこなわない。			
	プリント	聞くこと	a: ALT の先生の説明を理解することができる。 b: ALT の先生が説明する指示を理解し、課題に取り組むことができる。 c: ALT の先生が説明する指示を理解し、課題に取り組もうとする。	平常授業内でリスニングテスト
		読むこと	a: ALT の先生が提示した文章を読み、その理解することができる。 b: ALT の先生が提示した文章を読み、その要点を理解できる。 c: ALT の先生が提示した文章を読み、その要点を理解しようとする。	平常授業内でリーディングの小テスト
		話すこと（発表）	a: 5W1H の表現を用いて、短い文章を相手に話すことができる。 b: 5W1H の表現を用いて、複数のスライドに短い文章を入力し、プレゼンテーションを行うことができる。 c: 5W1H の表現を用いて、複数のスライドに短い文章を入力し、積極的にプレゼンテーションを行おうとする。	平常授業内で発音テストとプレゼンテーションテスト
		書くこと	a: 5W1H の表現を用いて、自らの考えを短い文で書くことができる。 b: 5W1H の表現を用いて、自らの考えをまとめることができる。 c: 5W1H の表現を用いて、自らの考えを積極的に表現しようとする。	平常授業内でライティングテストと単語小テスト
	期末考査はおこなわない。			
3 学期	プリント	聞くこと	a: ALT の先生の説明を理解することができる。 b: ALT の先生が説明する指示を理解し、課題に取り組むことができる。 c: ALT の先生が説明する指示を理解し、課題に取り組もうとする。	平常授業内でリスニングテスト
		読むこと	a: ALT の先生が提示した文章を読み、その理解することができる。 b: ALT の先生が提示した文章を読み、その要点を理解できる。 c: ALT の先生が提示した文章を読み、その要点を理解しようとする。	平常授業内でリーディングの小テスト
		話すこと（発表）	a: because の表現を用いて、短い文章を相手に話すことができる。 b: because の表現を用いて、複数のスライドに短い文章を入力し、プレゼンテーションを行うことができる。 c: because の表現を用いて、複数のスライドに短い文章を入力し、プレゼンテーションを行おうとする。	平常授業内で発音テストとプレゼンテーションテスト
		書くこと	a: because o の表現を用いて、自らの考えを短い文で論理的に書くことができる。 b: because の表現を用いて、自らの考えを論理的に書くことできる。 c: because の表現を用いて、自らの考えを論理的に表現しようとする。	平常授業内でライティングテストと単語小テスト
	学年末考はおこなわない。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度